

Q

町営住宅再生マスタープランは

質問者



城村 トキ子 議員

A

一部変更して検討中

問

町営住宅の建てかえについて、町営住宅再生マスタープランにおける事業スケジュールの進捗状況は。

答

白石町長

住宅の建てかえについては依然重要な課題であると考えています。建てかえ計画を愛媛県と協議する中で交付金を受け取る事業に見合った計画を改めて策定し、財源の確保、事業の絞り込み、一部マスタープランを変更し、検討しています。

問

不妊治療費の助成を

少子化対策として、町独自の不妊治療費助成の考えは。

答

町独自では困難

永田保健センター所長

特定不妊治療費助成制度として平成16年度から愛媛県では10万円を限度



町営住宅

として5年間助成を行っています。町では、平成16年から18年の3年間で10件程度の助成がありました。町としては、産婦人科、他の市町、県医師会との協議が必要で町単独で実施

することは困難です。

